

平成 27 年度

教育委員会の事務の点検・評価報告書

平成 28 年 9 月

始良市教育委員会

# 目 次

I	教育委員会点検・評価制度の概要等について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	平成 27 年度教育委員会事務局の点検・評価について・・・・・・・・	2
	教育委員会事務局	
	(1) 教育総務課・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(2) 学校教育課・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	(3) 社会教育課・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	(4) 図書館・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	(5) 保健体育課・・・・・・・・・・・・・・・・	7
III	教育委員の平成 27 年度点検・評価・意見・要望等について・・・・・・・・	8
IV	外部評価委員の平成 27 年度点検・評価・意見・要望等について・・・・・・・・	14
V	始良市教育委員会事務事業点検・評価シート・・・・・・・・別冊	
	<b>【資料】</b>	
	教育委員・外部評価委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則・・・・・・・・	20
	始良市教育委員会外部評価委員会規程・・・・・・・・・・・・・・・・	21

## I 教育委員会の点検・評価制度の概要等について

### 1 制度の概要について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）の一部改正により、平成 20 年度からすべての教育委員会が、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を行い、その実施に当たっては、学識経験者の知見活用を図るものと規定された。

また、その結果については議会へ報告し、市民に対して公表することも規定されている。（以下「条文抜粋参照」）

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む)を含む)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 始良市教育委員会の点検・評価の実施方針について

始良市教育委員会において、平成 27 年度に実施した事務事業の内容について、始良市の教育(教育行政要覧)の各課重点施策を基本に、評価項目を 47 の項目に分類する。事務事業自己点検・評価シートを作成し、教育委員会事務局内部で評価を実施した後、各教育委員の点検・評価を受け、その後、教育に関し学識経験を有する 5 名で組織する外部評価委員会を開催し、点検・評価実施後に、報告書を取りまとめる。

9 月定例教育委員会での議決を経て、平成 28 年第 3 回定例会(9 月議会)へ提出する。

また、報告書は平成 28 年 10 月以降に、始良市のホームページ等を活用して市民への公表を行うこととする。

### 3 評価点数結果及び各課の評価項目件数について(別紙 V 市教育委員会事務事業評価シート参照)

47 評価項目の合計評価点数は平均 4.5 点、始良市教育振興計画に基づく取組の着実な実施と、子育て基本条例に基づく社会全体の協働による子育て・人づくりのための具体的施策を展開した。

評価項目は、教育総務課 8 項目 学校教育課 13 項目 社会教育課 13 項目 図書館事務 4 項目 保健体育課 9 項目で、合計 47 項目である。

### 4 評価点数について

評価点数は 5 段階評価とし、以下のとおりとする。

評価	評価の基準等	目標等達成の目安
5	目標を十分に達成し、期待以上の成果が得られた。	8割～10割
4	目標を概ね達成し、ほぼ期待どおりの成果が得られた。	6割～8割
3	目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた。	4割～6割
2	目標をあまり達成できず、成果が少なかった。	2割～4割
1	目標をほとんど達成できず、成果がなかった。	0割～2割

### 5 平成 28 年度(平成 27 年度分)点検・評価の経過等について

- ・5月23日 教育委員会内部自己点検・評価シート作成を各課に依頼
- ・6月6日 事務局自己点検・評価シートのまとめ
- ・6月9日 各教育委員へ事務局点検・評価シートの配布
- ・6月27日 各教育委員から点検・評価シートの提出
- ・7月7日 事務局点検・評価シートのまとめ
- ・7月11日 第1回外部評価委員会  
(委嘱状の交付、会長選出、外部評価委員へ自己点検・評価の依頼)
- ・8月2日 外部評価委員から点検・評価シートの提出
- ・8月23日 第2回外部評価委員会  
(外部評価委員の点検・評価の報告)
- ・8月31日 自己点検・評価報告書の作成
- ・9月9日 定例教育委員会に点検・評価結果報告書の議案提出
- ・10月 市議会第3回定例会へ点検・評価結果報告書の提出
- ・10月 市民への公表(市ホームページに掲載)

## II 教育委員会事務局の点検・評価について

### 1 教育総務課

#### (教育委員会の活性化の推進 6 評価項目)

定例会開催日の固定化により、概ね委員全員の出席がなされ、臨時会については、時宜を逸しないよう努めた。今後においては、日常的に所管の教育行政の個々の課題等について、研究していきたい。

3 日前の資料配布により、事前検討がなされ、活発な質問や意見につながっている。

県・地区主催の研修会や市独自の研修への参加により、見識を深める機会となっている。特に県外研修においては、本市の課題点の整理と解決策の取組みを学ぶことができた。

職員研修については、さまざまな研修会への参加を促し、職員に対する人事評価制度は、職員のスキルアップという制度趣旨の理解を高めるために、今後も研修の機会を設ける必要がある。また、一般職非常勤職員の任用制度の実施に合わせて、再任用のための評価方法を検討する。健康診断については、職員の健康に対する意識高揚のために、積極的な受診を促した。

外部評価委員の評価点は平均 4.8 点

#### (事業に係る 2 評価項目)

事務職員研修会の中で、財務会計システム操作や財務会計処理の仕方、帳票作成等を指導し、適正な予算執行に努めたい。学校予算については、児童数の増加等、必要性の高まりに応じた予算の確保に努める必要がある。

市内小・中学校の校舎、屋内運動場については、老朽化が進んでいることから、学校からの修繕要望が増える傾向にあり、限られた予算の配分に苦慮している状況である。施設の現況把握を行うための基礎資料作成、他自治体の状況を調査研究することが望まれる。

外部評価委員の評価点は平均 4.3 点

#### □ 各事業の主な成果と課題

- (1) 職員研修は、次年度から始まる人事評価制度の研修会をはじめ 130 名が受講し、各種健康診断は 140 名が受診した。
- (2) 学校事務共同実施連絡会議やブロック事務職員研修会を通じて、財務会計処理、備品管理システムの実務研修を行い、財務事務の円滑な執行に努めた。
- (3) 施設等の整備は、重富小学校及び、北山小学校屋内運動場屋根防水工事や、建昌小学校屋外トイレ新築工事、建昌小学校給食受入口改修工事等を行っ

た。その他、校舎外壁、特別教室棟女子トイレ改修など、緊急性を考慮しながら 238 件の修繕を行い、安心安全な学校施設維持に努めた。

## 2 学校教育課

学校教育課では、27 年度に『規範意識を養い豊かな心と健やかな体を育む教育の推進』『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくりの推進』の三つを重点施策に掲げ、その充実に努めた。

26 年度からの取組として中山教育基金を利用した「スーパーサイエンス総合推進事業」においては、さらに充実したリーダー養成など工夫した講座の展開や東京科学施設の視察など、科学的視点をもった事業を展開・実施することができた。

27 年 4 月開校した松原なぎさ小学校については、開校後も教育活動が適切に展開できるように、教育課程に関する指導等、効果的に行い、学校と密に連携してスムーズで落ち着いた状況が生まれるよう努力した。

各小中学校の生徒指導上の課題、特に不登校の問題については、学校とスクールソーシャルワーカーと家庭・関係機関との連携が密にとられ、ケース会議等を通じ組織的な対応をするなど、該当児童生徒に対しての細かな対応が充実してきた。いじめ問題への対応については、学校訪問においても注視され、各小中学校で「学校いじめ防止基本方針」を策定し、いじめアンケート等を計画的に実施しながら把握できた全ての件について解消し、その後も状況を見届けている。

外部評価委員の 13 項目評価点は平均 4.5 点

### □ 各事業の主な成果と課題

- (1) 「スーパーサイエンス総合推進事業」では、「サイエンスあいランド」等、児童生徒の科学への興味・関心を高めると共に、実験・観察等の実践的な活動をとおして、科学的な見方・考え方を育てることができた。
- (2) 「モラリティ・インクルーブメント推進事業」で、加治木小学校が実践発表を行い、保護者や地域の方々が多く参加し、道徳教育について、学校・家庭・地域の三者協働による推進が図られた。
- (3) スクールカウンセラーを全ての中学校に配置し、各学校において生徒指導体制が充実してきている。各校では、ケース会議等を通じて特別に配慮を要する生徒への適切なカウンセリングが実施できた。
- (4) 特別支援教育の充実として、特別な支援の必要のある児童生徒のいる小・中学校に特別支援教育支援員 34 名を配置し、研修会を開催することによ

- り、適切な介助や学習支援等を行うことができた。また、市特別支援連携協議会により、各関係機関と連携を図り特別支援教育の充実が図れた。
- (5) 校長研修会では、教職員の資質向上や、地域とともにある学校づくりをテーマに、教頭研修会では、授業指導力の向上をテーマに実施し、学校の課題解決への取組や学校経営の充実に生かすことができた。
  - (6) 教職員向けの各種研修会では、「教職員の指導力を向上させることで学力向上を図る」という基本的な考えに基づき多様な研修会を実施できた。今後は、管理職研修会の内容を、より関連づけたものとしていきたい。

### 3 社会教育課

「あいら未来特使団」「A I R Aふるさと学寮」「A I R Aふるさとチャレンジャー」などの事業により、児童生徒に多様で価値ある体験をとおして自主性や社会性を培う機会を提供することができた。

また、現代的な課題を考慮して趣向を凝らした講座の開催により、女性学級（あやめ学級）や高齢者学級（ゆずり葉学級）を実施した。

社会教育施設や公民館施設においては、自主講座・公民館講座の内容充実が図られるなど、良好かつ幅広く生涯学習を推進できた。

一方、生涯学習フェアの開催においては、他行事との日程調整、事前広報、内容や時間の設定など今後の課題としたい。

芸術文化活動の振興では、第30回国民文化祭・かごしま2015における始良市主催3事業を成功裏に収めることができた。今後、児童生徒に本物の芸術を鑑賞できる機会として更に推進したい。

また、郷土愛の醸成や地域活性化を図るため、郷土芸能の継承など後継者育成に努めるとともに、埋蔵文化財の保存と開発の調整を図る。更に、文化財の保存活用のため、郷土の歴史と伝統を後世に伝え残す事業に取り組む。

**外部評価委員の13項目評価点は平均4.5点**

#### □ 各事業の主な成果と課題

- (1) 生涯学習リーダー研修会への積極的な参加を促し、スキルアップや資質向上が図られた。今後は、人材育成に努めるとともに、有効的な人材活用場の設定に努める必要がある。
- (2) 「あいら未来特使団」「ふるさと学寮」「ふるさとチャレンジャー」等青少年育成事業が充実し、成果が上がった。また、女性のためのあやめ学級や高齢者のためのゆずり葉学級なども充実しており、地区生涯学習推進大会で取組を発表するなど、それぞれに十分な成果を上げることができた。
- (3) スクールサポートボランティアコーディネーター（SSVC）事業においては、全小学校区にサブコーディネーターを、全中学校区にコーディネーター

ターを配置し、また、家庭教育サポーターを5人配置して展開することができた。今後、地域の一層の理解を得ながら充実を図りたい。

- (4) 社会教育施設（椋鳩十文学記念館、北山野外研修センター、スターランドAIRA、蒲生ふるさと交流館、龍門陶芸・健康の里）や公民館施設（始良公民館、蒲生公民館、地区・校区公民館）では、施設・設備の維持保全に努めながら、充実した施設の運営が図られた。今後も利用者に対して、環境整備とともに職員の接遇を充実させ、きめ細やかなサービスに努めたい。
- (5) 児童生徒に対する芸術鑑賞機会の提供、文化協会や市立少年少女合唱団の育成、始良10号美術展の開催、関係機関等と連携して取り組んだ国民文化祭の開催など、芸術文化活動の振興・充実を図ることができた。
- (6) 文化財の保護と活用については、第30回国民文化祭・かごしま2015において、「歩き・み・ふれる歴史の道」と「郷土芸能の祭典」を開催し、大勢の参加者に恵まれ大盛会であった。歴史民俗資料館や加治木郷土館では企画展等や歴史講座を実施し、その必要性の周知に努めた。郷土芸能の保存・育成では、県指定文化財吉左右踊りなど保存会へ補助を行った。また、「始良市誌史料集四」を刊行し、埋もれた郷土史の掘り起こしと周知に努めた。

#### 4 図書館

図書館サービス業務の充実では、平成27年度から中央図書館の開館を1時間早め、午前9時開館とした。また、行政資料の充実のため「知っとく①ら」コーナーを常設し、市内小・中学校の全教科書も揃えた。読書活動の推進では、子ども読書日に合わせた事業である「ものがたりレシピをいただきます」を開催し、小中学生が読書に関心をよせる機会を提供した。今後も関係機関との連携を図り、充実を図りたい。

また、視聴覚ライブラリーの充実では、県視聴覚ライブラリーとの連携により資料確保に努めた。図書館システムの有効活用では、鹿児島県公共図書館横断検索を活用し、県立図書館や他市町村図書館と相互貸借によるサービスの充実を図った。

外部評価委員の4項目評価点は平均4.5点

#### □ 各事業の主な成果と課題

- (1) 図書の貸出状況としては、一般書及び児童書などで32万4千冊余り、子ども読書活動としてお話し会56回、ブックスタート事業36回を開催するなど図書資料の利用や読書活動の推進に努めた。

- (2) 視聴覚ライブラリーの利用実績は、機材及びビデオで利用者が3,700人余りであり、視聴覚教育の推進に努めた。今後も各種団体に対して広報の充実に努めたい。

## 5 保健体育課

生涯スポーツの推進については、市民の健康意識や仲間づくりを目的に各種のスポーツ大会等を実施した。学校体育保健関係では、児童生徒の健康診断事業や、学校安全体制の充実・児童生徒の体力向上に努めた。また、学校給食関係では、小学校給食室別棟が運用開始され、さらに安心・安全な給食運営の推進に資することができた。

外部評価委員の9項目評価点は平均4.4点

### □ 各事業の主な成果と課題

- (1) 各種スポーツ大会等は、天候の影響を受けることもなく事業を実施することができ、多くの参加者を得て開催することができた。参加者数は約4,600名であった。更に多くの市民が参加できるような大会の計画やその広報の充実に努め、生涯スポーツの裾野をさらに広げていきたい。
- (2) すべての小・中学校で体力・運動能力調査を実施し、昨年度より上昇した。水泳記録会において、新記録12個、陸上記録会では、新記録6個が誕生した。また、「体力アップ！チャレンジかごしま」において、市内の全小中学校で取り組み記録を申告した結果、県ベスト10に小学校7校、中学校2校がランクインした。地域安全ボランティアやスクールガードリーダー等と十分な連携を図り学校安全体制の一層の充実が図られた。
- (3) 学校給食については、食中毒防止や異物混入等がないよう調理従事員・納入業者等を対象に学校給食衛生管理研修会の実施や栄養教諭等による食に関する指導等を行い、安心・安全な学校給食に努めた。さらに食に関する指導の推進では、心を育む食育講演会の開催などにより、家庭における食育の推進と地場産物の活用による食育の推進に努めた。
- (4) 小学校給食室別棟が完成し、建昌小学校・松原なぎさ小学校・建昌幼稚園・帖佐幼稚園に給食提供が実施された。

### Ⅲ 教育委員の平成 27 年度点検評価・意見・要望等について

#### (教育委員会の活性化の推進)

- ① 定例会ほぼ毎月 10 日前後に開催された。
- ② 事前に資料が配布され、定例会、臨時会に参加することができた。
- ③ 質問や意見が出され、議案に対して十分に審議している。
- ④ 早めの資料配布により事前検討ができ、質問や意見交換ができた。
- ⑤ すべての研修会に意欲的に参加し、資質向上に役立っている。
- ⑥ 県、地区の研修は参考になった。県外研修は不登校、文化財の保存等参考になった。
- ⑦ 研修に参加して知らないことを知る良い機会になった。
- ⑧ 学校訪問、各種行事等に積極的に参加した。
- ⑨ 学校訪問では、各学校の特色や雰囲気を感じられ、子どもたちの様子や職員の取組みについても知ることができた。

#### (教育総務課関係)

- ① 職員研修等各種研修へ、積極的な参加が図られている。
- ② 職員の資質向上、健康診断は大切だと思う。
- ③ 適正な予算執行が図られている。
- ④ 必要性の高いものから、順次整備がなされている。
- ⑤ 安全・安心な学校づくりの観点から施設整備や修繕は必要な事だと考える。
- ⑥ 学校訪問時にも修繕が必要な箇所を点検し、迅速に対応がなされている。
- ⑦ 校庭の屋外トイレについては、保護者や児童が利用しやすくなり、とても喜ばれた反面、学校施設の老朽化は深刻な問題なので、順次修繕に取り組んで欲しい。

#### (学校教育課関係)

- ① 松原松原なぎさ小学校は、開校 1 年目スムーズにスタートし、順調に運営されている。
- ② 開校に係る準備等については多くの関係者の方々の連携と協力のもと、素晴らしいスタートを迎えられたと思う。
- ③ モラリティ・インクルーブメント推進事業が学校を中心に進められているが、さらに地域への浸透を図ることが求められる。
- ④ 実践推進校になった年だけでなく、その後も継続して道徳教育を行なって欲しい。
- ⑤ ハートフルあいらんどでの「ことばのいずみコンクール」では、小・中・高

生によるスピーチコンクールが実施され、自分の考えをしっかりと発表していた姿に感動した。

- ⑥ 「ハートフルあいらんど」への参加者をもっと増やす工夫が欲しい。
- ⑦ スクールカウンセラー配置事業は、これからますます必要性が増す事業だと思われる。学校や家庭と十分連携を図って進めていくことが大切である。
- ⑧ 児童・生徒の取り巻く環境が多様であることから、問題があったときに迅速な対応ができるよう今後とも配慮を続けて欲しい。現段階でも早い対応ができてきていると思う。
- ⑨ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの相談体制を、保護者へこれまで以上に周知し、子どもたちの悩みや困っていることなどの解消に十分に活用してほしい。
- ⑩ 人権教育は教育の基礎になるもので、これからも一人一人の教員に届く指導を続けていく必要がある。
- ⑪ 小中合同音楽会は、それぞれの学校の特色を生かした取り組みや、先生方の指導により各学校で素晴らしい発表ができていていると感じる。発表する姿、見る態度、他の学校の生徒などとの交流など社会性を身につける大事な場だと思うので、継続してほしい。
- ⑫ 集団宿泊学習もいろんな体験を通して自分自身を成長させる土台となるので続けて欲しい。
- ⑬ 幼稚園では、諸研修会が実施され、参加者の意識、意欲は高まっている。研修したことを参加できなかった職員へも広げてほしい。
- ⑭ 幼・保・小連携は必要なこと（大切）なので研修等を実施し、お互いの交流も深める場として続けて欲しい。
- ⑮ 3歳児保育や預かり保育の実施により、保護者にはとても有難い環境になっている。さらに市幼稚園の全園で取り組んで欲しい。
- ⑯ 幼・保・小連携は、公立・私立に関係なく、さらに連携を深めていただきたい。
- ⑰ 学校訪問に行くとどの学校でも、9年間を見通した学力向上計画を立てている。小学校と中学校が一体となって学力向上に取り組んでいることがよく分かる。
- ⑱ 学力向上に向けての取り組み(講演会、セミナー、研修会等)についてはできるだけ設けて、実施してもらいたい。
- ⑲ 学力向上の成果が出て来ている事はすばらしい。継続して欲しい。
- ⑳ 中山基金も活用し、今後も始良市の特色を生かした理数教育活動を展開されたい。
- ㉑ サイエンスあいらんどでは、柳田理科雄先生の化学の授業に参加した子供たちは、とても楽しそうに生き生きと一緒に体験していい経験になっていると

思う。20 ブースの市教職員による実験教室も良かったし、子供たちは他校の先生方とのふれ合いの場となり良い取り組みだと感じた。

- ② 特別な支援を必要とする子供が増えつつあり、これまでも相談や支援に力を入れているものの、更なる努力が求められるようになると考える。
- ③ 年々特別支援を必要とする児童生徒が増えている状況があるなかで、いろいろな面で柔軟に対応できていると思う。
- ④ 支援学級の担任や支援員以外の先生方に、支援を必要とする子供たちの実態を少しでも理解し把握して接して頂きたい。
- ⑤ 特別支援教育支援員の資質向上を図るため、研修会等も行われているところだが、今後、さらに県の動向も知る上で県などが行う研修会等への参加を推進していただきたい。
- ⑥ 職場体験学習は、協力してくれる事業所も毎年増加しており、地域への理解は進んでいると思う。
- ⑦ 職場見学や職場体験を通して仕事・将来の夢を考えるキャリア教育の良い体験となっており、受け入れ事業所が増えているのは、望ましい。
- ⑧ 学校のグランドデザインはすべての校長が作成しており、学校経営の柱が分かりやすく示されている。
- ⑨ 毎年全小・中学校と幼稚園の学校訪問を行っており、学校の状況をしっかり把握されている。
- ⑩ 特認校では、それぞれの学校の特色を出し、小規模校の良さを生かしている。複式学習に子供たちがしっかり取り組んでいる。
- ⑪ 特認校それぞれ特色ある魅力ある学校なので、多くの人たちに知ってもらい特認生が増えてもらえればと思う。

#### (社会教育課関係)

- ① 諸社会教育関係団体との連携がうまく図られており、それぞれの活動が積極的になされている。
- ② PTA 活動研究委嘱公開で市内全中学校吹奏楽部合同演奏の開会アトラクションは初の試みだったが大勢の参加者に感動を与えたのではないかと思うし生徒たちも貴重な体験になったと思う。
- ③ 市独自の青少年育成事業が着実に実施され、青少年育成の一翼を担っている。
- ④ 小中高生がチャレンジできる多くの青少年育成事業が企画され、体験活動を通して自主性や社会性を学べていることは素晴らしいので、継続して実施してほしい。
- ⑤ SSVC や家庭教育サポーターの活用で、子供たちへの支援活動が充実してきている。
- ⑥ 諸学級を開設、開催しており、内容等も工夫されており、さらに参加者数を

増やしていくことが大切である。

- ⑦ 高齢者を対象とした学級の生徒数が増加していることは、啓発活動の成果であると思われ、幼、小中学校の家庭教育学級についても学級生の増加につながるような啓発を同様に取り組んでほしい。
- ⑧ 国民文化祭 2015 の始良市主催事業は準備から運営まで大変ではあったが、多くの出演者・参加者があり、盛り上がりを見せていた。
- ⑨ 青少年劇場、芸術鑑賞については、本物の芸術に触れる良い機会なので続けて欲しい。
- ⑩ 市立少年少女合唱団は、小学校1年生から参加できるようになり団員も増えたが、男子団員の加入の啓発にも力を入れてもらいたい。
- ⑪ 生涯学習フェアの内容は工夫が見られ、講演の評判もよかった。参加者が増えるとさらに盛り上がると思う。
- ⑫ 生涯学習フェアは、長時間にわたるため、参加者が最後まで残るような工夫が必要ではないかと思う。
- ⑬ それぞれの社会教育施設が特色を出した事業等を実施しており、存在感がある。広報や利用者増は共通の課題である。
- ⑭ 各施設の活動で参加人数が昨年より増加していることが伺える。減っている施設もあるようなので、今後のPR活動も必要かと思われる。
- ⑮ 公民館利用者数は、市の人口の約3倍ととても多く、これからも利用しやすい公民館を継続していくための努力を続けていく必要がある。
- ⑯ 各公民館の整備が行き届いていて、気持ちよく利用できていると思う。
- ⑰ 各公民館を利用する方たちが不便がないよう施設の整備を維持して欲しい。
- ⑱ 地区公民館、校区公民館は、地域に住んでいる人たちの活動拠点にもなり、避難場所にもなっているので支援は続けて欲しい。
- ⑲ 多くの文化財を抱えながら、新しい事業にも取り組んでいる。市民への広報を充実し、意識を高めることが大切である。
- ⑳ 文化財を含む始良市の広報活動に、このたび完成した始良市 PR 動画（プロモーション）を有効活用することで、たくさんの方に知ってもらう機会になると考える。
- ㉑ 太鼓踊りの保存に力を入れているだけでなく、地域によって踊りの違いがあるなど解説があった。これからも市民の関心を高めながら、郷土芸能が引き続き継続されるよう願っている。
- ㉒ それぞれの企画展は、見応えのあるものであったので、今後、さらに市民の関心を高め、歴史民俗資料館だけでなく、始良市全体の歴史・文化財をアピールする必要がある。
- ㉓ 歴史民俗資料館でいろいろな企画を実施し、入館者や参加者が増加していることは評価できる。

#### (図書館関係)

- ① 開館時間を早めたことは、大きな市民サービスの一つである。
- ② 開館時間を1時間早めたり、移動図書館車の運行や映画会の開催など、利用者のことを考えたサービスの提供ができていると思う。
- ③ 市報への掲載によって活動内容が把握できることは、利用者にとってはとても良いことだと思う。
- ④ 図書館の活動を、もっと知ってもらうための広報に努めて欲しい。
- ⑤ 子供たちのために読み聞かせボランティアグループの方たちに感謝と今後とも継続して頂きたい。そして活動しているグループの方への配慮もお願いしたい。
- ⑥ 16ミリフィルム→ビデオ→DVDそしてインターネットでの資料収集など、世の中がどんどん変化してきている。しかし、いい内容の資料がたくさんあるので、活用の手立てを工夫する必要がある。
- ⑦ ライブラリー教材、機器の整理・整備を進め、利用者が増えるよう工夫して欲しい。
- ⑧ 図書館システムは、時代に対応したシステム管理が、実施できていると思う。

#### (保健体育課関係)

- ① 多くの市民がスポーツを楽しんでいる。健康づくりのためにも、さらに参加者を増やすことが大切である。
- ② 各大会に多くの方が参加していることが伺えるので、継続し交流も深めてもらえればと思う。
- ③ スポーツ推進委員の資質向上が図られていると思う。
- ④ 合宿を誘致できたことは大きな成果である。
- ⑤ 3つの大学が合宿をしたことは良いことだが、施設利用について問題があったのなら来年は改善できるよう取り組んでもらいたい。
- ⑥ スポーツ少年団の指導者等を対象に「Live On Seminaer」を実施したことは今後必要なことなので良いと思う。
- ⑦ 部活動で優秀な成績をあげている学校が多くある。しかし、体力・運動能力調査の結果を見ると、ほとんどの小・中学校で県より下まわっている種目がいくつかあり、課題である。
- ⑧ 水泳記録会で新記録12個タイ記録1個陸上記録会でも新記録6個タイ記録1個が誕生したのは、日頃の指導と子供たちのがんばりによるものなので評価したい。
- ⑨ 「体力アップ!チャレンジかごしま」においても各学校で積極的に取り組み成果がでていていると思うので、今迄以上に体力向上に努めて欲しい。
- ⑩ 地域安全ボランティアの方を、登下校の時間に多く見かける。地域の教育力

の一つだと思う。

- ⑪ 自覚症状がないのに健康診断や検診で先天性や特定疾患の病気が分かることがあるので健康診断・検診は必要であると思います。
- ⑫ 学校安全については地域ボランティアの方々、スクールガードリーダーの方の見守りに感謝しています。
- ⑬ 校区内の危険箇所点検は定期的に続けて欲しい。赤旗を設置させているが何の為なのか…を周知してもらいたい。
- ⑭ 「安心・安全」は学校給食の一番のモットー。これからも事故なく、おいしい給食づくりにつとめたい。
- ⑮ 食物アレルギーの児童・生徒も年々増加しているようなので、統一した取り組みを続けてほしい。
- ⑯ いつも栄養バランスのとれた献立でおいしい給食を作って下さっていることに感謝です。
- ⑰ 食育講演会はとても重要である。
- ⑱ 担任・栄養教諭がお互いに連携を図り児童・生徒たちに食育の授業を実施し指導されていたので続けて欲しい。
- ⑲ 給食室別棟はスムーズに運用されている。
- ⑳ 小学校給食室別棟の運用が始まり、問題なく機能していることに安心しています。
- ㉑ 給食費の納入方法が統一されたことは良いことである。

## IV 外部評価委員の平成 27 年度点検評価・意見・要望等について

### (教育委員会の活性化の推進)

- ① 定例会、臨時会等など定期的に開催されて、意見交換が十分なされている。今後も責任ある会にして頂きたい。
- ② 議案、報告等すべて議決され活発な意見交換がなされており、十分に審議されていることは評価できる。
- ③ 県内外への研修・視察から得られた情報を、今後、優れた点は進んで取り入れてほしい。
- ④ すべての研修会に参加し委員の資質向上に努めて、特に不登校の減少に取り組んでもらいたい。
- ⑤ 視察研修地・内容は委員自身も積極的に希望を出し厳選してほしい。
- ⑥ 学校訪問は素晴らしい。素晴らしい点は各学校に広めてもらい、問題点は解決策を話し合ってもらいたい。

### (教育総務課関係)

- ① 職務への自覚と研鑽に努めてほしい。メンタル部分も含め健康診断受診、検診は積極的に行って下さい。
- ② その年に見合った適切な予算執行がなされていると思う。
- ③ 生徒の安心・安全な学校施設維持のため、老朽化に伴う改修を計画的に迅速に進めていただきたい。
- ④ 学校の環境整備は、優先順に適切に執行されていると思う。今後も随時環境整備について実情と要望を把握され対応して下さい。
- ⑤ 特別支援の子供たち、地域の方々の中にも車椅子の方が以前より多く見られるようになった中、学校施設のバリアフリー化が遅れているように見られる。

### (学校教育課関係)

- ① 松原松原なぎさ小学校は、校長先生を中心に教職員の方々が、地域とよく連携をとられて、児童生徒が健やかに学校生活を送ることができるように努力されていて、素晴らしいスタートだと思う。
- ② モラリティ・インプルーブメントの推進事業により指導資料集やリーフレット等が作成され、学校、家庭、地域の協働による道徳の推進が図られている。
- ③ 「モラリティ・インプルーブメント」の言葉も内容も、まだまだ地域へ浸透が足りない。実践推進校も継続していくことで三者協働の道徳性が更に深まり、繋がっていくのだと思う。
- ④ 児童・生徒を取り巻く環境は多様化しています。市で独自にスクールカウ

セラーを配置され、児童生徒や保護者、教諭等の相談体制が充実されていることは評価できる。

- ⑤ 相談機関(人)は数あるが、各専門家が一堂に会し“チーム学校”的なシステムは構築できないものかと思う。単独では、子供を救うには限界があると感じる。
- ⑥ どの学校も集団宿泊学習が実施され、児童生徒の社会性、自主性、協調性等が生まれ、すばらしい社会勉強になると思う。
- ⑦ 小学校との連携は年々密になってきているように思う。幼・保・小の連携した研修や子どもたちの具体的交流を確立し、充実した交流を継続的にお願いしたい。
- ⑧ 中学校教諭の小学校での出前授業の推進や教育講演会、指導力向上セミナーで授業改善につながる研修会等今後も継続的に実施してもらいたい。全国学力、学習状況調査の結果、小中学校共全国平均を上回った事は大変評価できる。
- ⑨ 「確かな学力」の推進を図るべく「心に安定」の育成を念頭に学力向上プランニングがなされているということで、理想的な方向に導いておられると思う。
- ⑩ スーパーサイエンス事業では、とても魅力ある講座やイベント等のとり組みがなされ興味深い。
- ⑪ 今後、英語は重要だと思う。小学校からの推進は必要だ。
- ⑫ 県には特別支援教育室が設置され「障害者差別解消法」の施行もあり、合理的配慮も求められているため、一層の担当者の資質向上をお願いしたい。
- ⑬ 支援を必要とする子どもさんのいらっしゃる家庭へ、今後も援助を続けて下さい。支援員を増員されたことは良かった。
- ⑭ 中学校の職場体験学習は、沢山の事業所が取り組んでいることを評価したい。子供達の「夢」へのきっかけになりうる。
- ⑮ 中学校の職場体験学習は将来の仕事や夢を考えることにつながり価値のある体験であり、事前授業を充実させてほしい。
- ⑯ 中学校の職場体験は3日間位であり仕事に対して将来を考える体験になっているか疑問に思う。大半の子どもたちが学校での学習の息抜きの3日間ではないでしょうか。1週間位は必要ではないでしょうか。
- ⑰ コミュニティー協議会の発足により子供達とのふれあいの場が深まり大変有難い。今後の活動に期待したい。
- ⑱ 多方面からいろいろな意見等ふまえて十分に練られたグランドデザインが各学校出来ていると思う。
- ⑲ 始良市の各学校への訪問により、学校の状況がよく把握されている。
- ⑳ 全先生方が資質向上、指導力向上のために学びやすい環境作りに力を入れてほしい。それが学校運営の充実につながります。要は「人」ですから。

⑫ 本市には小規模校が5校あり、すべての学校が特認校制度である。特色ある教育活動が推進されている。

#### (社会教育課関係)

- ① 社会教育を担う団体への働きかけ、連携等基盤づくりは充分に行われ、生涯学習情報が市報にも積極的に取り上げられ、大変評価できる。
- ② 各青少年育成事業が定着化し、内容も充実してきており、将来このような体験を通して、始良市を担う若者が育っていくものと期待できる。
- ③ 子供会加入率が58%・・・衰退が懸念されるのではないか。保護者の都合に子供がふり回されている気がする。何らかの手だてを早めにして欲しい
- ④ 家庭教育学級への支援として、事業実施前に学級長研修会が開催されたことは評価できる。活気ある活動をされていると思う。広く啓発して下さい。
- ⑤ 国民文化祭の始良市主催3事業は、すべて大成功であった。特に邦楽の祭典は、邦楽と全国吟詠剣詩舞道祭という2つの分野を抱き合わせた形で開催の運びとなったので、準備に未知数の気苦労があったと思う。さりながら、すばらしい成果を収められたことを高く評価するとともに、感謝をお伝えしたいと思う。
- ⑥ 生涯学習フェアの内容は、工夫されているが、時間や休憩を考慮した計画も検討をお願いしたい。
- ⑦ 生涯学習の推進体制は整備されているが、市民の関心度が低い。
- ⑧ 各施設が特色を生かした研修会等を企画しているが、更に広報活動をお願いしたい。マヤフェスタは、地域の人材を生かし、多くの参加者があった。今後も継続させてほしい。
- ⑨ すばらしい研修センターやスターランドAIRAがあるので大いに活用して頂きたい。社会教育の施設は整備されていると思う。より多くの利用者増加する様に今後も推進してもらいたい。
- ⑩ 各公民館の整備が行き届き、利用しやすいと思います。公民館利用数が多く、今後も継続をお願いしたい。
- ⑪ 今後も適宜修繕等を行い、安全で利用しやすい環境をお願いしたい。予算がついていないため修繕が出来ないところもあると聞くが、現段階での最良の維持保全をお願いしたい。
- ⑫ 校区公民館から校区コミュニティ協議会に移行され、利用しやすくなり設備も整った。問題点も多いと思うが、助言、指導をよろしくお願いしたい。
- ⑬ 校区コミュニティの方向性が不透明。校区公民館から校区コミュニティ協議会へ移行したが何ら違いがない。
- ⑭ 多くの文化財を大切に、活用した事業が工夫されている。今後も広報活動をしながら市民に郷土のよさを伝えてほしい。

- ⑮ 埋蔵文化財の発掘調査は大変な仕事ですから始良市の歴史の為。尽力してほしい。
- ⑯ 郷土芸能の保存は郷土教育、郷土愛にもつながるので後継者育成等力を入れてほしい。
- ⑰ 様々な企画展が開催され、入館者や参加者も増加している。貴重な資料の活用が活かされていると思う。

#### (図書館関係)

- ① 図書館のサービス業務は、充実しており先進的な経営手腕を発揮されていると思う。貸出冊数の増冊など、さらに利用者へのサービスを考えた対応策の検討をお願いしたい。
- ② 読書活動のボランティアグループの方々へ感謝するとともに、発表の場の提供など配慮もお願いしたい。
- ③ 子供たちの図書館離れが見られます。「ものがたりレシピ」など広めていただき、本を読む楽しさを広げて欲しいです。
- ④ 読書活動の新しい企画も期待しています。始良市すべてのボランティアグループの本部的立場でいろいろ情報提供して欲しい。
- ⑤ 視聴覚教材、機器の整理と整備とともに、広報もしていただきどんな資料が利用できるのか知らせてほしい。
- ⑥ 図書館システムによる機能の周知が図られている。

#### (保健体育課関係)

- ① 多くの市民がスポーツを楽しんでいることがうかがえます。今後も健康増進や親睦を深めるためのスポーツ大会の開催をお願いしたい。
- ② 今後も広報誌等で行事を案内して頂き、大会等の様子や結果を随時紹介して下さい。
- ③ 地区配置のスポーツ推進委員をもっと周知させるべき。アドバイザー的役割を担ってほしい。
- ④ 合宿の誘致など競技力の向上に努力されている。
- ⑤ スポーツ少年団の指導者に、子供たちの地域行事への積極的参加を促して欲しい。スポーツ少年団の試合等で、子供会行事、地域行事への参加が少ない等と言われています。スポーツ少年団指導者の意識改革が必要ではないかと思う。
- ⑥ 水泳記録会での新記録などの成果は評価できる。
- ⑦ 近年児童生徒の体力が減少している。体力向上に向けての教育を願う。気力、体力は学習の基本。日常的に体力をつける工夫がほしい。
- ⑧ 地域安全ボランティアやスクールガードリーダーとの連携が図られ登下校が安心して登下校している。

- ⑨ スクールガードリーダーの高齢化に対する対応は今後どのように考えているのでしょうか？また、「交通安全プログラム」は子供目線の安全プログラムを細部まで検討してもらいたい。
- ⑩ 食中毒発生が0件は素晴らしい。今後も安心安全な給食であることを願いたい。
- ⑪ 心身ともに健康であるためには、食育が大切であり、今後も指導を続けてほしい。
- ⑫ 食事時間の確保が心の余裕につながる。食育は「生きる力」環境づくりに力を入れてほしい。
- ⑬ 食中毒を出さないのが一番大事だ。衛生検査や健康管理の意識高揚に努めるのは当然だと思う。
- ⑭ 給食費の納入方法が統一され、給食室別棟もスムーズに運用されている。
- ⑮ 給食費未納者へ対する対応を踏み込んで考えてもらいたい。

## 始良市教育委員会外部評価委員

番号	氏名	役職等	備考
1	原口 和哉	加治木高等学校長	学校教育
2	中森 春志	始良市スポーツ少年団副本部長	社会体育
3	吉川 成子	市文化協会副会長	芸術文化
4	馬場 修二	市PTA連絡協議会会長	PTA連絡協議会代表者
5	三月田 淳子	元始良市教育委員	教育委員会が必要と認める者

## 始良市教育委員

番号	氏名	役職等	備考
1	川畑 逸郎	教育委員長	
2	百武 美津代	教職務委員代理者	
3	中間 博英	教育委員	
4	岩元 真美	教育委員	
5	小倉 寛恒	教育長	

# 始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則

平成22年3月23日教育委員会規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象及び時期)

第2条 点検及び評価の対象は、法第23条各号に掲げる事務及び教育施策上の重要課題とする。

2 点検及び評価は、毎年度、前年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第3条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。）は、前条第1項に規定する事項について、必要な資料を整理する。

(教育に関し学識経験を有する者の知見の活用)

第4条 法第27条第2項の規定に基づき、点検及び評価を行うに当たり教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置するものとし、必要な事項は、別に定める。

(議会報告等)

第5条 始良市教育委員会は、評価委員会からの答申を踏まえ、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、始良市議会に提出するとともに、これを公表するものとする。

(庶務)

第6条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年3月23日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱（平成21年加治木町教育委員会要綱第1号）又は教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成21年始良町教育委員会規則第1号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。

# 始良市教育委員会外部評価委員会規程

平成22年3月23日教育委員会訓令第4号

## (設置)

第1条 始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成22年始良市教育委員会規則第5号）第4条の規定に基づき、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 評価委員会は、始良市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議し、その結果を答申するものとする。

- (1) 教育委員会の事務の点検結果の評価に関すること。
- (2) 教育委員会の委員の活動状況点検結果の評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

## (組織)

第3条 評価委員会は、5人以内の評価委員をもって組織する。

2 評価委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育、社会教育及び社会体育に知見を有する者
- (2) 芸術文化関係に知見を有する者
- (3) P T A連絡協議会代表者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

## (任期)

第4条 評価委員の任期は、委嘱日から当該委嘱日の属する年度末までとし、補欠評価委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

## (会長)

第5条 評価委員会は、会長1人を置き、評価委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、評価委員会を代表する。

## (会議)

第6条 評価委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、評価委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席評価委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

## (庶務)

第7条 評価委員会の庶務は、教育総務課において処理する。

## (委任)

第8条 この訓令に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

## 附 則

この訓令は、平成22年3月23日から施行する。